

（四国地方整備局からのメッセージ）

◆◆◆四国地方整備局トピック 2016. 9. 13◆◆◆

\*\*\*\*\*

人口減少・高齢化と四国圏広域地方計画

本年3月29日に四国圏を含む各圏域の広域地方計画が国土交通大臣により決定されました。これにより、計画策定のプロセスから策定した計画の実現プロセスへと移行したことになります。四国圏においても四国圏広域地方計画の推進に向けた具体的な作業に入っているところです。

かつての国土計画は、人口増加と急速な経済成長を背景に、開発主義的色彩の強いものでした。その後わが国は本格的な人口減少・高齢化の段階に入り、国土計画もこれに呼応した形に変化していくことになります。平成27年8月には新たな国土形成計画が閣議決定されました。本計画は、本格的な人口減少社会に初めて正面から取り組む国土計画であり、「対流促進型国土」の形成を基本コンセプトとし、「コンパクト＋ネットワーク」により人口減少に立ち向かう地域構造・国土構造を形成するとしています。広域地方計画もこのような理念の下に策定されています。

とはいうものの、人口減少や高齢化に地域レベルで立ち向かうことは容易なことではありません。例えば、移住希望者の取り込みなどは様々な地域で行われているものの、国全体としての人口が減少するのが必然である中では、ある地域に人が集まればそれ以上に他の地域の人口が減るのは明らかです。人口減少や高齢化が大都市圏にも及ぶ中、移住促進策を全国一律に行えば、地域による優勝劣敗が明らかになるか、あるいは地域全般が共倒れするかどちらかです。

特に四国圏は、全国と比較して人口減少で25年、高齢化で10年先んじており、今後も続く人口減少と高齢化の中で地域社会をどのように維持していくかが差し迫った課題となっています。これに対しては、四国圏広域地方計画においても「全国に先駆けて進行する人口減少への『子国』支援対策プロジェクト」として対応策を示しています。そして、この『子国』支援対策プロジェクトが人口減少対策としてどこまで有効かについては、今後の施策等の展開にかかっています。

いわば四国圏が人口減少・高齢化にどのように対峙していくかは、今後のわが国における人口減少・高齢化対策の先駆けともなり得るわけであり、人口減少・高齢化の「先進」地域としての立場で、官民挙げてこの課題に取り組んでいかなければならないと考えます。

四国地方整備局次長 兼 総務部長

四国圏広域地方計画推進室長

齋藤 哲郎

\*\*\*\*\*

■秋は国営讃岐まんのう公園の「コスモスフェスタ」へぜひお越しください

【香川河川国道事務所 公園課】

国営讃岐まんのう公園は、四季折々の花や草木が鑑賞でき、年間を通じて工作教室や里山体験、イルミネーションなど多くのイベントを行っております。また、ふわふわドームやエックスライダー（長いすべり台）などの遊具や親水広場などのこども向けの施設に加え、満濃池を眺めながら楽しめるサイクリングやウォーキングは、大人にも人気があり老若男女みなさまが楽しめる公園となっております。

秋の公園では、9月10日（土）から11月3日（水・祝）まで「コスモスフェスタ」を開催します。15品種40万本のコスモスが9月下旬～10月中旬に見頃を迎え、今年初登場5千本のコキア（和名：ハウキグサ）は、9月中旬頃から徐々に色が変化していき、10月下旬頃まで紅葉が楽しめます。

また、10月16日（日）はパワーショベルやパトカーなど働く車が勢ぞろいする「働く車！！フェスティバル2016」、さらに10月23日（日）には地元まんのう町合併10周年記念の「かりんまつり」など秋を満喫できるイベントが目白押しです。

その他、ハーブ教室やトールペイント教室など土日祝日を中心に様々な体験教室も合わせて開催しておりますので、ぜひご参加ください。

さらに、自然生態園では、昔ながらの遊びを体験することができるほかボランティアと一緒に園内を散策するガイドウォーク等、多くのイベントを行います。是非、ご来園ください。

※季節の花情報やイベント情報については、国営讃岐まんのう公園ホームページでご確認できます。（<http://www.mannoukouen.go.jp/>）

\*\*\*\*\*

■平成28年度「道路ふれあい月間」について

【道路部路政課、道路管理課】

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路を利用する国民の方々に、改めて道路とふれあい、道路の役割及び重要性を再認識していただき、さらには道路をいつくしむという道路愛護思想の普及及び道路の正しい利用の啓発を図り、道路を常に広く美しく、安全に利用する気運を高めることを目的として各種活動を特に推進することとしています。

期間中は管内各地において、地域の方々や関係機関の協力を得ながら、当月間を超えた効果のある取り組みにつながるよう各種行事を実施しました。

■「88クリーンウォーク四国」について

「88クリーンウォーク四国」は、四国の道路を歩きながら道路の一斉清掃を行うボランティア活動です。

平成15年から始まり、今年で14回目となります。ボランティア団体、沿道住民、企業の皆様のご参加により、毎年8月8日の早朝に1時間程度「もっときれいに、気持ちよく」の思いを込め、道路清掃を行っています。

今年も、8月8日に四国各地で約6,200名のボランティア参加者による道路の清掃が行われました。

\*\*\*\*\*

## ■小松島 港まつり2016を開催

【小松島港湾・空港整備事務所】

徳島県小松島市の夏の一大イベント「小松島 港まつり2016」が、平成28年7月16日～17日にかけて開催されました。阿波踊りをはじめ、フラダンスショー、キッズダンス、花火大会等が主要行事として行われるなか、協賛行事として、小松島港湾・空港整備事務所では港湾業務艇「しまかぜ」による港見学会、海面清掃兼油回収船「みずき」の一般公開を実施いたしました。他にも、徳島海上保安部による巡視船の体験航海、海上自衛隊によるヘリコプターの体験搭乗、護衛艦の一般公開が行われ、たくさんの方々にぎわいました。

港見学会では、「しまかぜ」が老朽化のため、今回が一般開放する最後の機会となってしまうりましたが、合計4便全てが満席となり、たくさんの方が普段なかなか見ることがない、海からの徳島小松島港の風景を楽しんでいただきました。

また、「みずき」の一般公開についても、普段見ることのない特殊な船であり、流木等の大型の漂流物を回収する際に使用するアーム操作を、実際に体験していただくなど、家族連れの方などに見学していただきました。

今後も、イベント等を通じて多くの方に港の重要性や楽しさを体験していただきたいと考えております。

\*\*\*\*\*

## ■高知港、須崎港にてみなとウォッチングを開催

【高知港湾・空港整備事務所】

平成28年7月21日(木)、22日(金)にそれぞれ高知港、須崎港で「みなとウォッチング」を開催しました。このイベントは、市民の方々に海からの景色を楽しみながら港の役割を知ってもらうため、高知みなとまつりの一環として高知港湾・空港整備事務所が毎年開催しているものです。今年は延べ59人(高知港42人、須崎港17人)の方々にご参加いただき、港湾業務艇「とさかぜ」に乗って1時間程度のクルーズを楽しんでいただきました。

ご参加いただいた方々からは、「高知にしながら、知らなかったことを知ることができてよかった」、「消波ブロックについて知ることができた」等のご意見をいただき、普段見られない海からの景色を楽しんでいる様子でした。

\*\*\*\*\*

■平成28年度「みなとまちづくりマイスター」の認定。  
八幡浜から 2人目のマイスター誕生！

【松山港湾・空港整備事務所】

八幡浜港のみなとまちづくりに携わる木村謙児氏（八幡浜みなとと みなと交流館館長）が、（一社）ウォーターフロント協会から、8月3日「みなとまちづくりマイスター」に認定されました。

また、国土交通省港湾局長から木村氏を含め3名の方にみなとまちづくりに対し、その功績をたたえ、「港湾局長賞」が手渡されました。

「みなとまちづくりマイスター」とは、みなとまちづくりを通じて地域の賑わいの創出や地域の活性化などの成果が得られた事例において中心的な役割を担った方の中から、毎年1回、有識者からなる第三者委員会（委員長：横内憲久 日本大学理工学部まちづくり工学科教授）の選定を経て、他の模範としてふさわしい方を（一社）ウォーターフロント協会が「みなとまちづくりマイスター」として認定し、みなとまちづくりに関する助言や事例の紹介を行っていただくものです（平成20年度創設）。

「みなとまちづくりマイスター」は、現在全国に46名、四国において5名認定されており、八幡浜からは平成21年度に谷本 訓男氏（八幡浜みなとまちづくり協議会会長）が認定されており、四国で初めて同じ地区での2人目のマイスター認定となります。

\*\*\*\*\*

■建設現場で課外授業  
～建築を学ぶ学生が高松サンポート合同庁舎南館の現場を見学～

【営繕部 保全指導・監督室】

平成28年4月から7月にかけて、香川大学工学部安全システム建設工学科及び県立高松工芸高校の学生、女性78名を含めた合計271名が高松サンポート合同庁舎南館の工事現場を見学しました。

まず、合同庁舎北館アイホールにて、設計・工事概要の説明を受け、その後工事現場に移動し、外壁PCカーテンウォールの取り付け、鉄骨建て方、3次元測量、床配筋、耐火被覆、制震ブレースなどを見学しました。また、120tクローラークレーンの体験乗車、鉄筋の結束体験、左官塗り体験を実施しました。見学会終了後のアンケートでは、「授業で聞くのと、実際に見るとでは全く違い、とても楽しかった」や、「現場には早急かつ正確な作業が求められていることがわかり、それをこなす現場の人々のすばらしさに気づけた」、「同じ女性の方の話聞くことができ、女性

の多くない職種だと思うが頑張っただけで目指していきたいと思った」などの意見を頂きました。

今回の見学会での経験を、これからの授業での勉強にいかしていただき、また、将来の目標を立てるうえで参考にさせていただければと思います。

\*\*\*\*\*

## ■ゆきかう那賀川推進会議主催のなかがわ探検バスツアーを開催

【那賀川河川事務所】

8月3日に那賀町横谷字の四季美谷温泉にて「第9回ゆきかう那賀川推進会議」を開催しました。「ゆきかう那賀川推進会議」は、那賀川の流域内交流の活性化、上下流連携の推進による流域振興を目指して、流域関係者を中心に平成20年3月に発足しました。

会議の委員として、阿南市長、那賀町長（代理：副町長）、徳島県南部総合県民局局長、徳島県県土整備部副部長（代理：次長）、阿南高等専門学校名誉教授、流域内活動団体会長らにご出席いただき、平成27年度の活動報告と平成28年度の取り組みについて討議しました。

平成27年度の活動報告として「那賀川風土探訪マップ」、「なかがわ探検バスツアー」を紹介しました。また、今年度の取り組みとして、那賀川の日「なかがわ探検バスツアー」等の企画・開催や「徳島阿波踊り空港 那賀川写真展」等の情報発信、「那賀川源流コンサート」等の支援をおこなうとともに、流域内の活動団体とも更なる連携を図ることとしました。

那賀川の日※（平成28年8月6日（土））に、那賀川流域内に住む子ども達が上下流交流を行いながら、那賀川に触れ、親しみをもらうことを目的に「ゆきかう那賀川推進会議」主催、「那賀川アフターフォーラム」共催による「なかがわ探検バスツアー」を開催しました。

ツアーでは、長安ロダム改造工事現場や那賀川堤防耐震対策工事現場の見学、川口ダム自然エネルギーミュージアムの見学、橘湾クルージング等が行われ、那賀川流域内の児童15名、保護者7名の計22名が参加され、那賀川を身近に感じる1日を過ごしました。

参加者からは、「いろいろなところに行けて楽しかった。」「遊覧船が楽しかった。」「いろいろなことが知れてとてもうれしい」「来年もあれば参加したい」等の感想をいただきました。

来年度以降も、那賀川流域の上下交流を深めていき、各地点での役割の違いを体験しながら那賀川への関心を高められるよう「那賀川の日」の催しを行っていきます。

※『那賀川の日』とは？

那賀川が「阿波の八郎」という愛称で呼ばれていることから、「八郎（86）」にちなんで8月6日を『那賀川の日』とし、川に親しみを持ってもらえるイベントを開催することが「ゆきかう那賀川推進会議」で決まりました。

\*\*\*\*\*

■「サマー！エコキッズスクール」を開催

【松山港湾・空港整備事務所】

松山市が主催する「サマー！エコキッズスクール」（夏休みの期間中に体験型で学ぶ環境教室）の講座の1つとして、当事務所の海面清掃兼油回収船「いしづち」の見学会を8月4日（木）に開催し、38名の小学生と保護者の皆さんが参加しました。

まず、当所担当職員より「いしづち」で実施している“海洋環境整備事業”についての説明を行い、その後「いしづち」の船内見学に移りました。「いしづち」の船内見学では、ごみ回収作業の様子や操舵室にある様々な機器、放水銃のデモンストレーションを行いました。

船内見学の後は、再び室内に戻り、おさらいテストと「干潟の効果について」の講座を実施しました。参加者の中には夏休みの自由研究のテーマに考えているお子さんもいるようで皆さん熱心にメモを取ったり、当所担当職員に質問をしたりと大変積極的に取り組まれていました。

アンケートでは「海に浮かんでいるゴミを取る船があることを初めて知りました」や「川に捨てたゴミが海に行くので、ゴミを捨てないようにします」といった意見があり、海の環境を守る大切さを学んで頂けたのではないかと思います。

\*\*\*\*\*

■建設フェア四国2016 in 高知

【企画部 企画課】

四国建設広報協議会では、10月14、15日に『建設フェア四国2016 in 高知』を開催します。

当フェアでは、土木・建設に係る新技術などの展示を約100の企業や団体が行う予定です。また、ご家族で楽しむことができる高専土木女子による「どぼじょ工作教室」や塗り壁や泥団子作りなどの体験できる「左官体験コーナー」、土石流3Dシアターや降雨体験装置の「災害疑似体験コーナー」など各種イベントをご用意しています。15日は、『こうち防災フェスタ2016』も同時開催、様々な防災体験イベントやご当地グルメ等の飲食ブースもご用意しています。

第2会場：新技術発表会（サンピアシリーズにて）

第3会場：みなとウォッチング（高知港湾・空港整備事務所にて）【要事前予約】

日時：10月14日（金）午前9時半～16時

10月15日（土）午前10時～16時

場所：高知ちばさんセンター

参加費無料、無料駐車場有、会場までの無料シャトルバスを準備しております。

問い合わせ先：四国建設広報協議会事務局（四国地方整備局 企画部 企画課内）

電話：087-811-8308

<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/shikokukensetsu/fair.html>

いきいき四国通信Vol.79（配信版）.txt

\*\*\*\*\*

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

\*\*\*\*\*

「いきいき四国通信」に関するご意見等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>

《平成27年2月からメールアドレスが変わりました》

\*\*\*\*\* 「いきいき四国通信」事務局 \*\*\*\*\*

「いきいき四国通信」の配信中止・配信先変更のご希望がありましたら、事務局までFAXまたはメールにてご連絡頂きますようお願いします。

国土交通省 四国地方整備局 企画部  
【担当】新名、篠崎